

地震・津波について 知ろう

震度と揺れ等の状況

南海トラフ巨大地震が発生したとき、田辺市では最大震度7が予想されています。



- ほとんどの人が恐怖を覚え、物につきまといた感じる。
- 電灯などがけ物は大きく揺れる。
- 座布団の悪い重りが倒れる。

- 半分の人が恐怖を覚え、物につきまといた感じる。
- ある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具が半分移動し、倒れるものもある。うがけ物がなくなることがある。
- 壁やカーテンや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

- わざわざ動くことができない、飛ばされるともある。
- 固定しない家のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。

	発表される津波の高さ 数値での発表(津波の高さ予想区分)	とるべき行動	想定される被害
大津波警報 (特別警報に位置付け)	10m超(10m<予想高さ)	海岸や河川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返していくので、津波警報が解除されるまで安全な場所への避難を続けてください。	木造家屋が全壊・流失します。 人は津波による流れに巻き込まれます。
津波警報	10m(5m<予想高さ10m)	3m(3m<予想高さ3m)	はじめの津波が到達してから数時間の間は、津波は何度も押し寄せます。安全が確認されるまでは、避難場所で待機しましょう。
津波注意報	5m(3m<予想高さ5m)	地域・自宅周辺の安全を確認する	津波の大津波警報・避難指示の解除を確認
	3m(1m<予想高さ3m)	このなら安心とと思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!	自宅の状況は…
	1m(20cm<予想高さ1m) (表記なし)	海の中にいる人は、ただちに海から上がり、海難から離れてください。 津波注意報が解除されるまで船に入ったり海上に近づいたりしないでください。	自宅が被災している帰宅できない 自宅が被災しておらず、安全が確認できた

- 震源が陸地に近いと津波警報が間に合わないことがあります。「揺れたたら避難」を徹底しましょう。
- 津波沿岸の地域などは影響により活動を予想りにくくなる場合があります。●地震発生後も津波変動が継続する場合には、「津波予測(若干の時間変動)」が発表されます。
- 想される津波の高さは、通常は2段階の数値で発表されます。ただし、地図の規則(マグニチュード)を考慮するうえで最大震度の場合、最初に発表する大津波警報や津波警報では、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表され、非常事態であることを伝えられます。

一人ひとりが行う 自分自身の防災活動

自助・共助・公助

防災・減災のキーワードとして、「自助」「共助」「公助」という言葉がよく使われます。自助とは「自分の身は自分で守る」こと、共助とは「家族・近所でお互いに助け合い地域を守る」ことを指します。また、公助とは「公的機関からの救助や支援」を指しています。災害の発生を完全に予見し防ぐことはできませんが、自助・共助・公助が連携し、効果的に機能することで、被害を減らすことが可能となります。

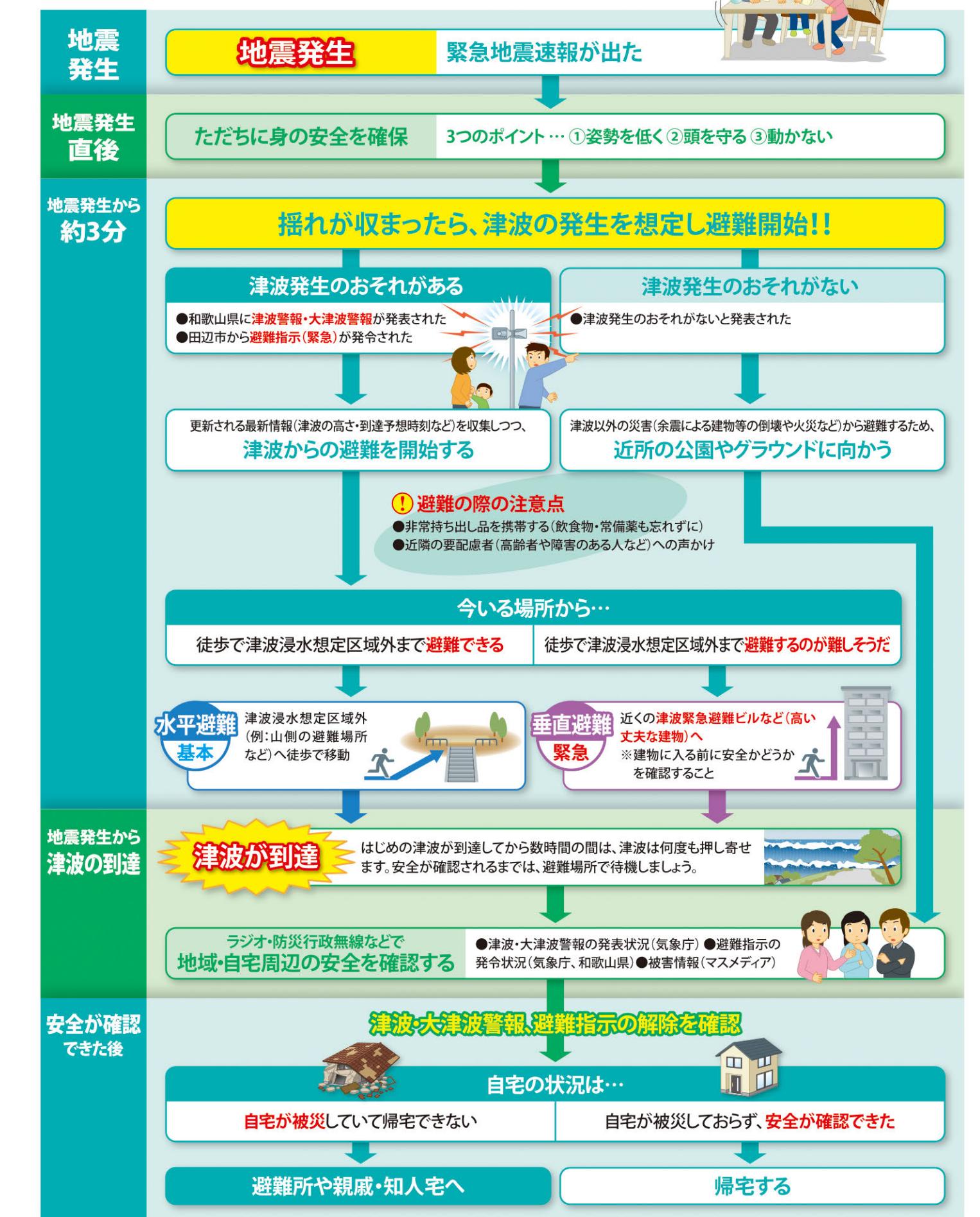


今すぐできる地震対策

地震によって建物が倒壊しない場合でも、大きな家具の転倒やガラスの飛散などにより、ケガをしたり、閉じ込められたりするおそれがあるので、今すぐ地震対策をしましょう。



地震・津波から 身を守るポイント



避難経路を想定して マイマップを作ろう

マイマップの作り方

地震はいつ起こるかわかりません。いろんな場面において地震や津波が起きた場合に備えて、家族みんなの避難先(裏山、高台、公園など一時的に身を守るために緊急避難する場所)を確認しておきましょう。また、表面の津波避難マップに、自分が避難する場合を想定した避難情報を書き加えて、より具体的な避難行動イメージができるようにしておきましょう。

マイマップの記入例(表面:津波避難マップ)

①自宅や学校、勤務先等をチェック

まず、津波避難マップであなたの自宅や学校、勤務先を探して、予測されている被害の有無(津波浸水想定区域に入っている、危険箇所がある等)を確かめましょう。

津波の浸水範囲にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。

●記入例



②避難先と避難経路を決める

次に、目標とする避難先を確認して、避難先までの経路を考えてみましょう。

津波の浸水範囲にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。

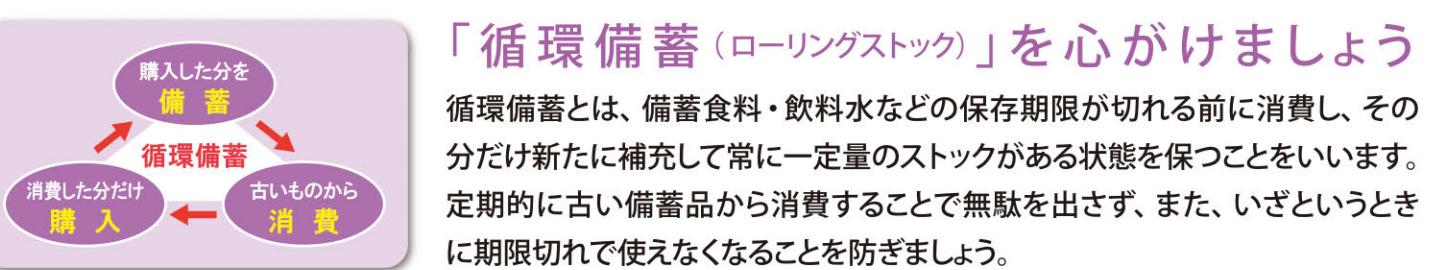
日頃からの備えが大切 非常持ち出し品・連絡方法など

非常持ち出し品の準備

災害が発生したときは、すぐに避難しなければいけません。避難する場合に備えて、リュックサックなどに必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

食料	救急・安全対策	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人2~3リットルを自己安) <input type="checkbox"/> 非常食(缶詰、乾パン/バーレル食品など) <input type="checkbox"/> 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) <input type="checkbox"/> フミルクと離乳食(赤ちゃんがいる場合) <input type="checkbox"/> アレルギー対応食品(アレルギーがある場合)	<input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、ほんとうこう <input type="checkbox"/> 携帯用薬(止血薬、消毒薬など) <input type="checkbox"/> 持病のある方の薬 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ズキン <input type="checkbox"/> ホイストル <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 消毒液	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も必要) <input type="checkbox"/> 預金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証など(身分を証明するもの)

衣類など	日用品など
<input type="checkbox"/> 衣類(厚手の物と薄い物) <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> タオル、毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> ポリ袋(ビニール袋) <input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器・バッテリー) <input type="checkbox"/> 布ガムテープ <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> 筆記用具(油性マジック) <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 携帯電池(予備電池) <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品



災害時の連絡方法・情報の入手先

災害時の連絡方法を家族で確認しておきましょう。また、田辺市の『防災・行政メール』を登録しておきましょう。

災害伝言ダイヤル ①⑦①	田辺市防災行政情報システム「防災・行政メール」
電話を用いて安否情報(音声)の録音・再生を行うことができます。	気象警報や避難情報などの災害に関する情報をメールでお知らせします。
① ⑦①をダイヤル	【登録方法】①register@bousaiyousei.aamilikai.aikis.jpに空メールを送信します。(メールアドレスが登録されます)
② 録音は①	②の直後に登録確認メールが送られてきますので、そのメールに記載されておりますURL(ホームページアドレス)にアクセスします。
③ 被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル	③確認ページが表示されますので登録を完了させます。
④ 音声ガイダンスに従い、録音・再生	④その後、情報が発信された場合に防災・行政メールとして送られています。

田辺市ホームページ

田辺市の防災に関する情報などを提供しています。

URL <http://www.city.tanabe.lg.jp/>

QRコード URL <http://bousaiyousei.aamilikai.aikis.jp/>

QRコード

下屋敷・今福町・南新町・北新町地区における主な避難場所と避難経路



みんなで助け合う 地域の防災活動

自主防災組織の役割

自主防災組織とは、「自分たちのまちは自分たちで守る」という、地域住民の連携に基づき、結成される防災組織のことです。自主防災組織は、災害発生時に、お互いの身を守るために、平時からの防災訓練を含めた防災活動を行います。災害時に効果的な活動ができるよう、住民一人ひとりが防災に関する正しい知識を共有し、各家庭で備えるとともに、地域住民が一体となり防災活動へ取り組むことが重要です。

日常の活動例

●防災知識の普及

防災講演会の開催、防災チラシの発行など。

●地域の危険箇所等の把握

災害危険箇所・防災上有効な施設の把握、地域防災マップの作成など。

●防災訓練

情報伝達・避難・避難場所開設・運営、初期消火、応急手当、給食・給水訓練など。

●防災資機材の整備

防災活動に必要な資機